目次

■編集方針と報告範囲……P.1
■会社概要……P.2
■最高責任者の緒言……P.3
■2000年度の活動の概要……P.5
■ビジョンと戦略……P.7
■環境保全活動
方針／行動計画と実績……P.11
環境活動推進体制……P.13
環境負荷の削減実績……P.15
燃料油の品質規制と対応の経緯……P.17
環境会計……P.19
■環境パフォーマンス
事業活動における環境負荷……P.23
油田開発・原油輸送……P.25
製油所……P.26
物流（国内製品輸送）……P.28
SS（サービスステーション）……P.29
オフィス……P.30
環境対応技術・製品の開発と販売……P.31
■社会パフォーマンス
事業における安全対策と緊急時対応……P.33
海外協力……P.34
広報活動……P.35
社会貢献活動……P.36
お客様、地域社会、
従業員に対する活動……P.37
■経済パフォーマンス……P.39
■サイト別データ
千葉製油所……P.41
四日市製油所……P.42
堺製油所……P.43
坂出製油所……P.44
その他……P.45
■用語集……P.46
■環境保全活動のあゆみ……P.47
■第三者審査報告書……P.49
■編集後記・お問い合わせ……P.50
＊読者アンケート

編集方針と報告範囲

◎この環境報告書は、コスモ石油グループの2000年度の環境保全活動についての報告です。

◎対象期間は、2000年4月1日～2001年3月31日を対象としておりますが、事例などに関しては一部2001年度以降の内容も含んでいます。

◎環境報告書の対象範囲は、コスモ石油グループです。

◎環境会計及び環境負荷の対象範囲は、製油所などを中心とした範囲に限定しました。

◎この報告書は、当社の活動を多面的にご判断いただけるよう「GRIガイドライン*」を参考に、社会パフォーマンス、経済パフォーマンスに関する情報を盛り込み、全体を構成しました。ただし、環境保全活動の部分に関しては、網羅的な情報開示のために環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考に作成しました。

◎自社の環境保全活動はもとより、総合エネルギー企業を目指して、環境技術開発に取り組んでいることも当社の環境保全活動の特徴です。そのため当報告書では、当社の環境技術開発や新エネルギー事業などについても重点的に触れています。

＊GRI（Global Reporting Initiative）ガイドラインは、環境報告書を包含した持続可能性報告のガイドラインであり、環境側面だけでなく、社会側面、経済側面を織り込んだものです。